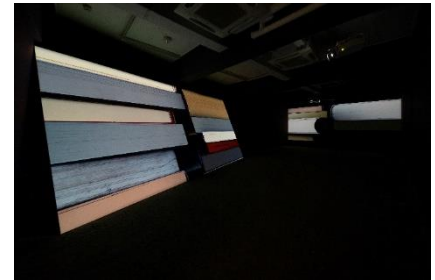


ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 3

## 停滞フィールド 2020→2021

2021年2月20日(土)～3月21日(日)

トーキョーアーツアンドスペース本郷

文化でつながる。未来とつながる。  
THE FUTURE IS ARTTokyoTokyo  
FESTIVAL

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、Tokyo Tokyo Festival の一環として「ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 3」を実施します。

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)では、これまで公募展や企画展、海外派遣などを通じて、アーティストを段階的、継続的に支援し、またその活動を紹介してきました。2018年度より開始したシリーズ「ACT (Artists Contemporary TOKAS)」では、TOKASのプログラムに参加経験のある作家を中心に、注目すべき活動を行っているアーティストの企画展を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により会期中で休止となった展覧会「ACT Vol. 2 『停滞フィールド』」の参加作家である田中秀介、広瀬菜々&永谷一馬、渡辺豪の3組を再び迎え、これまでの価値基準が大きく変化した現在の社会に応答する作品を発表します。

## ■ 展覧会概要

展覧会名：ACT Vol. 3「停滞フィールド 2020→2021」

会期：2021年2月20日(土)～3月21日(日)

会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

開館時間：11:00 - 19:00（最終入場は30分前まで）

休館日：月曜日

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース

参加作家：田中秀介、広瀬菜々&永谷一馬、渡辺豪

協力：ANOMALY

ウェブサイト：[www.tokyoartsandspace.jp/](http://www.tokyoartsandspace.jp/)

### < お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館） 広報担当：市川、武智

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: [press@tokyoartsandspace.jp](mailto:press@tokyoartsandspace.jp)

## ■ 展覧会について

「停滞フィールド」とは、時間が停滞した領域のことを指します。SF 作品やゲームに登場するこの領域は、しばしば装置を起動させることによって作り出され、時間が止まる、あるいは極度に遅延することで、その領域では内部の物体の動きが停止しているように見えます。

昨年度の「ACT Vol.2『停滞フィールド』」は、新型コロナウイルスの影響によって開始わずか一週間で休止となり、そのまま再開することなく閉幕しました。グローバル化が進み、世界中を自由に移動してきた人々の活動は、未知のウイルスという厄介な装置によって制限され、地球全体がまさに「停滞フィールド」となりました。一年が経とうとする今も、それ以前に戻ることはなく、時間の流れは滞ったままです。

参加アーティストの3組は、時空間に僅かな操作を施し、そこから生まれる差異や歪みを取り入れることで、物事の見方を問い直す作品を制作してきました。本展「ACT Vol.3『停滞フィールド2020→2021』」では、一年前の展示から引き伸ばされた時間に対峙しながら、あらゆる価値基準が一変し、今では停滞フィールドの内部に取り込まれたかのような社会を、それぞれの視点から捉えようと試みます。

## ■ 関連イベント

詳細は TOKAS ウェブサイトで発表します。

■ 参加作家／略歴／広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

### 田中秀介 TANAKA Shusuke

日常の中で不意に出合った景色をモチーフに、その一部を意図的に強調したり、色彩を調整することで、自身が感じた驚きや違和感を映し出す絵画を制作しています。

日々の生活の中であらゆる制限がなされ、暮らしが大きく変化した社会において、田中はこれまでと異なる対象の捉え方をするようになったと言います。本展では、「ACT Vol.2」での展示から派生した作品など、コロナ禍における作家の眼差しの変化に焦点を当てた作品を発表します。



1. 《寸前に我なし》キャンバスに油彩 2020

### プロフィール

1986年和歌山県生まれ。大阪府を拠点に活動。2009年大阪芸術大学美術学科油画コース卒業。

主な展覧会に「なつやすみの美術館 10：あまたの先日ひしめいて今日」（和歌山県立近代美術館、2020）、「忘れようとしても思い出せない」（ポータレス・アートミュージアム NO-MA、滋賀、2019）、「清須市はるひ絵画トリエンナーレアーティストシリーズ Vol.87 田中秀介展 ~カウンターライフ~」（清須市はるひ美術館、愛知、2018）、「TWS-Emerging 2016『円転の節』」（TWS 渋谷、東京）など。

主な受賞に「はるひ絵画トリエンナーレ」準大賞（2018）、「トーキョーワンダーウォール公募 2016」トーキョーワンダーウォール賞など。

## 広瀬菜々 & 永谷一馬 HIROSE Nana & NAGATANI Kazuma

日用品や日常的に目にする物の機能を解体し、慣れ親しんだ物事への視点や、既存の価値観を問い直す作品を制作しています。

本展では、野菜や果物、電球、コップなどの日用品を一つ一つ型取りし、焼成中にあえて変形が生じるように粘土を配合した磁器のインスタレーション《Still life》を発表。展示する場所に呼応しながら、作家の手によって配置される無数のオブジェクトにより、空間全体を変容させ、私たちが世界をどのように知覚しているのかを問い掛けます。



2. 《Still life》磁器 2013年からの継続作品

### プロフィール

1980年大阪府生まれ（広瀬）。1982年兵庫県生まれ（永谷）。デュッセルドルフを拠点に活動。2014年ブレーメン芸術大学美術学部マイスターシューラー修了。

主な展覧会に「Out of the Ordinary」（ウルム芸術財団、ドイツ、2019）、「Why don't cats wear shoes?」（クンストラーハウス・ゲッティンゲン、ドイツ、2019）、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」（新潟、2018）など。

主な受賞・助成歴にベルギッシュ・アートアワード観客賞（ゾーリンゲン美術館、ドイツ、2017）、ポーラ美術振興財団在外研修（ドイツ、2015）など。平成29年度リサーチ・レジデンス・プログラム（TWS、2017）参加。

## 渡辺 豪 WATANABE Go

本や食器など身の回りにある物を3DCGでモデリングし、物質・光学的な法則から離れてモチーフが変化する映像作品を制作しています。

本展では、コロナウイルスの影響下において、行動の制限を受けているがゆえに見える「通常」とは異なる時空として、自宅からアトリエまでの経路に着目しました。およそ35分間の移動は、決して共有されることのない生活と制作という作家の「通常」を繋ぐ特殊な時空間といえます。本展では、アトリエの一角に置かれている作品をモチーフとしたダブルチャンネルのアニメーション作品を発表します。



3. 《積み上げられた本》アニメーション 2019-2020

### プロフィール

1975年兵庫県生まれ。東京都を拠点に活動。2002年愛知県立芸術大学美術研究科油画専攻修了。

主な展覧会に「あざみ野コンテンポラリーvol.8 渡辺豪 ディスロケーション/dislocation」（横浜市民ギャラリーあざみ野、2017）、「光差 - 境面 III -」（URANO、東京、2017）、「創立50周年 記念展示芸術は森からはじまる」（愛知県立芸術大学構内全域、2016）など。「第13回恵比寿映像祭『映像の気持ち』」（2021）参加予定。

受賞歴に「第24回五島記念文化賞」美術新人賞受賞（2013）。

「ACT Vol. 3『停滞フィールド 2020→2021』」  
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他( )

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送( 月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、武智

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp